

ミステリ読書案内

2022. 6. 16 発行元

第366号 伊藤 剛

<https://mystery-dokuan.com>

小路幸也「ハロー・グッドバイ」

小路幸也の『東京バンドワゴン』シリーズの第17作が出た。今度は『ハロー・グッドバイ』という題名。「出会い」があり「別れ」があるという意味合い。人生とはそういうものだと感じさせる一冊になっている。

今回はいつものパターンで

前作の『グッバイ・イエロー・ブリック・ロード』はイギリスに舞台を移した番外編の形だったが、今回の『ハロー・グッドバイ』は、いつものパターンに戻り、各季節ごとの東京バンドワゴンをめぐる動きを紹介している。

第一話の『ここ掘れワンワン迷子かな』は、バンドワゴンを訪ねてきた人物が行方不明になる話。無事なことがわかりホッとする。第二話の『一夜一夜にもの語る』からは夜営業が開始となる。夕方7時で閉めていたのを夜の11時まで延長した。昼とはまた違った展開が…。

「出会い」と「別れ」の中で

堀田家は大家族なので、さまざまな「出会い」と「別れ」が生まれてくる。若者は新しい繋がりが世界を広げ、高齢の者には過去との遭遇があったりと…。

でも、私ぐらいの年齢になると「グッドバイ」の方が多くなるなあと感じている。新聞の死亡欄を眺め

る時、亡くなった人達の年齢が気にかかったり、知人がいるのではないかと思ったりすることが多い。

本作の中でも、また一人亡くなった知らせが入ったり、急に衰えが進んだ人が登場したりする。いつも平穩に過ぎるとは限らないのが世の常。せいぜい愛着を持っている人物が今後も長生きしてくれることをひたすら願うしかない。

ミステリ味は薄くなって…

今回はいつもにも増してミステリの要素は薄くなっている。作者も「ミステリ」という感覚よりは「人生ドラマ」的な気持ちで綴っているのだろうから。

一番「謎」らしいのは、夜営業になって、客が帰った後の椅子の上に千円札が挟まれた文語本が5回連続で置かれていた出来事。結果は非常に妥当なところに落ち着くのだが、不可思議性などはそれほど求めている話ではないので。

最終話『ハロー・グッドバイ』にはカセットテープが登場する。これもまた過去のものになりつつあるが、

《東京バンドワゴン・シリーズ》

1. 東京バンドワゴン
2. シー・ラブズ・ユー
3. スタンド・バイ・ミー
4. マイ・ブルー・ヘブン ※
5. オール・マイ・ラビング
6. オブ・ラ・ディ オブ・ラ・ダ
7. レディ・マドンナ
8. フロム・ミー・トゥ・ユー
9. オール・ユー・ニード・イズ・ラブ
10. ヒア・カムズ・ザ・サン
11. ザ・ロング・アンド・ワインディング・ロード
12. ラブ・ミー・テンダー ※
13. ヘイ・ジュード
14. アンド・アイ・ラブ・ハー
15. イエロー・サブマリン
16. グッバイ・イエロー・ブリック・ロード ※
17. ハロー・グッドバイ

※印は長編形式の作品。他は4編くらいずつから成る短編集の形式。ほぼ1年1冊のペースで刊行されている。

私たちの年代には懐かしいものだ。若者には扱い方も録音の原理もわからないだろうなあ。私は地磁気逆転の授業でこの理論を取り上げていたのだが…。

「やすらぎ」を与えてくれる話を

ロシアによるウクライナ侵攻など殺伐な雰囲気が漂う現在。『東京バンドワゴン』シリーズのような「LOVE」に満ち溢れた物語の存在も大切になってくると思う。

藤江じゅん「からくり探偵団・懐中時計の暗号を解け！」

2020年角川書店。児童書としての作り。総ルビ付き。『からくり探偵団』シリーズの第一作は『茶運び人形の秘密』の副題がついており、江戸時代の茶運び人形を中心にした「工作ミステリ」として書かれている。第二作に当たるのが本書で、今回は「暗号ミステリ」に挑戦である。作者・藤江じゅんは児童文学出身の人のようである。

児童書だと思って軽く見ないでほしい。作者はミステリをよく理解しており、「暗号」にも真正面から取り組んでいて、本気度が窺える。主人公は前作からの続きの真坂タクミ・水野風香・島田草介の小学5年生の3人組「からくり探偵団」。今回は一人で日本にやってたトーマスというアメリカの少年と出会うことによって始まる。トーマスの曾おじいちゃんが持っていた懐中時計と同じものを浅草の緒方という人が持っているはずだという。第二次世界大戦前の時期に友情の印として作ったものらしい。緒方さんを探すためのヒントが暗号で遺されていた。トーマスと仲良くなったからくり探偵団はわずかな手掛かりを頼りに前進する。怪しい黒づくめの男の出現、その都度ぶち当たる暗号の数々…。なかなかよく出来ている。関東大震災まで浅草にあった「浅草十二階」もヒントに。(「浅草十二階」は着月海里の『幽霊町おぼけ』シリーズにも登場していたなあ…。)